

WithSecure Elements Endpoint Protection 移行ガイド

1. 設定の移行

1-1. Policy Managerでの準備

ダッシュボード 設定 ステータス ソフトウェアアップデート 警告 スキャンレポート インストール Active Directoryのド:

ルート > WIN-BTH5KMAUJ2T > 設定 > Windows > リアルタイム スキャン

リアルタイム スキャン

一般

リアルタイム スキャンを有効にする

Security Cloud を使用

マルウェア対策スキャンインターフェイス (AMS) を有効にする

スキャン対象

スキャン対象:

次の拡張子のファイル

切り取り Ctrl-X

貼り付け Ctrl-V

削除...

Insert

新規ポリシー ドメイン...

新規ホスト...

新しいホストをインポート...

Windows ホストを自動検出...

[インストール] をクリックして、Windows ホストをインストールする...

検索...

レポート...

ドメインの警告転送...

13 x ホスト用にポリシー ファイルをエクスポート...

ポリシーファイルをエクスポートする...

変更した設定を表示...

ドメイン/ホストのプロパティ...

Alt-Enter

集中管理

- + Linux
- + Atlant
- + Mac
- + Microsoft Exchange

有効	タイプ	例外	例外スコープ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル パス	C:\Users\test	すべてのスキャ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル パス	C:\Users\EPP-migration	すべてのスキャ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル パス	C:\Users\test3	すべてのスキャ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル パス	C:\Users\test3	すべてのスキャ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイル パス	C:\Users\test2	すべてのスキャ

1-1. Policy Managerでの準備



1-2. WithSecure Elements EPP での準備

The screenshot shows the 'Profiles' page in the WithSecure Elements Security Center. The left sidebar contains navigation options like Home, Endpoint Protection, Dashboard, Devices, Software Updates, Reports, Licenses, Profiles, Downloads, Support, Accounts, and Security Events. The main content area displays a table of profiles with columns for Profile Name, Status, Type, Description, Owner, Number of Computers, and Actions. The 'WithSecure™ Office (open)' profile is highlighted with a red box, and its context menu is open, showing the 'Clone Profile' option.

プロフィール名	ステータス	タイプ	説明	所有者	指定されているコンピュータ	アクション
WithSecure™ Laptop (locked) (読み取り専用)			A laptop profile that is locked to prevent users from changing any settings.	システム	0	...
WithSecure™ Laptop (open) (読み取り専用)			A laptop profile that is open for users to change any settings.	システム	0	...
WithSecure™ Office (locked) (読み取り専用)			Office locked for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are not allowed to change security settings.	システム	0	...
WithSecure™ Office (open) (読み取り専用)			Office open for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are allowed to change security settings.	システム	0	...

WithSecure Elements Security Centerにログインし、
プロフィール画面を表示します
“...”メニューから「プロフィールをクローンする」を選択します

- プロフィールをクローンする
- プロフィールの比較と編集
- 「Windows Server」プロフィールにコピーする
- プロフィールを別のアカウントにコピーする

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

Windowsのプロファイル

プロフィール名

タイプ

一般設定

ウイルスのリアルタイムスキャン

マニュアル スキャン

ブラウザ保護

自動更新

ファイアウォール

HTTP プロキシを使用 ユーザブラウザの設定を検出

ソフトウェア アップデータ

デバイス制御

手動で定義されたプロキシアドレス

自動化されたタスク

プロキシを介した強制接続

ネットワーク場所の設定

プロキシの設定を隠す

保存して発行

すべての設定をロックする

すべての設定を解除する

プロフィールをインポート

プロフィールをエクスポート

“...”メニューから「プロフィールをインポート」を選択し、先ほど保存したjsonファイルを選択します

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

Windowsのプロファイル

プロファイル名 **プロフィール名を入力します**

タイプ

一般設定 このタブには、WithSecure™ Elements Agentのセキュリティ機能で共有される設定が含まれています。

ウイルスのリアルタイムスキャン	クライアント ソフトウェアを誰よりも早く利用する ?	<input type="checkbox"/>	
マニュアル スキャン	クライアントにユーザ インターフェースを表示する ?	<input checked="" type="checkbox"/>	
ブラウザ保護	自動更新 ?		
ファイアウォール	HTTP プロキシを使用 ?	<input type="text" value="ユーザブラウザの設定を検出"/>	<input type="checkbox"/>
ソフトウェア アップデータ	手動で定義されたプロキシアドレス ?	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
デバイス制御	プロキシを介した強制接続 ?		<input type="checkbox"/>
自動化されたタスク	プロキシの設定を隠す ?		<input type="checkbox"/>
ネットワーク場所の設定			

各設定項目を確認し、問題が無ければ、「保存して発行」をクリックします

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

2025年1月20日以降、End of Life (EOL) クライアントはシグネチャ更新を受信できなくなります。ダッシュボードで [Home] - [Endpoint Protectionの問題] からEOLクライアントのリストを確認してください。クライアントのEOLステータスに関する詳細情報については、以下を参照してください。 [コミュニティ記事](#)

プロファイル

Windows Windows Server Mac Linux モバイルデバイス Connector: **プロファイルの指定ルール** Policy Managerから移行 (PILOT)

1 アウトブレイク制御と追跡機能を分割し、それぞれが独立して機能するようにしました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。

アウトブレイクルール

アウトブレイクルールを追加する

順序	条件	クライアントタイプ	プロファイルを指定する	アセットグループを割り当てる	ラベルを追加する	説明	アクション
アウトブレイクルール							

プロファイルの指定ルール

変更の追跡。デバイスのルールを継続的に評価し、Active Directory組織単位、IP、リバースDNS、またはホスト名/WINS名の変更が検出されたときに、各デバイスのプロファイルとラベルの割り当てを変更します。

カスタムルールを追加する

順序	条件	クライアントタイプ	プロファイルを指定する	アセットグループを割り当てる	ラベルを追加する	説明	アクション
ルールがありません							
デフォルトルール							
1	すべて	デフォルト	Windowsワークステーション	SeinoCustom001			...
2	すべて	デフォルト	Windowsサーバー	WithSecure™ Server			...
3	すべて	デフォルト	Linux	WithSecure™ for Linux			...
4	すべて	デフォルト	Mac	aaaaaa			...
5	すべて	デフォルト	モバイルデバイス	WithSecure™ mobile (open)			...
6	すべて	デフォルト	Connector	WithSecure™ Elements Connector			...

編集
コピー

「プロファイルの指定ルール」 → 「デフォルトルール」内でクライアントタイプ毎にデフォルトプロファイルが指定できます。右端メニューから「編集」をクリックします。

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

ルールを変更

① 新しいプロファイルの割り当てルールは、新しいデバイスに自動的に適用されます。

条件*

すべて

値*

any

クライアントタイプ*

Windowsワークステーション

プロファイルを指定する*

EPP移行

アセットグループを割り当てる

ラベルを追加する

説明

キャンセル 保存

先ほど作成したプロファイル「EPP移行」を選択します。

保存をクリック

2. WithSecure Elements EPP への移行

2-1. Policy Managerでの移行作業

F-Secure ポリシー マネージャ コンソール

admin @ https://localhost:8080

インストール

ルート > TEST1 > WIN-8ED8DDQQODV > インストール

インストール

新しいホストをインポート
ホストを自動インストールするためのルールを作成する、またはホストを手動でインポートします。

インストールパッケージ
インストール パッケージのインポートとエクスポートを行います。

Windows ホストを自動検出
Windows ドメインとホストを自動的に検出してソフトウェアをリモート インストールします。

インストールされている製品

製品	バージョン	カウント	処理
F-Secure サーバセキュリティ プレミアム	15.30	1	修復 アンインストール
F-Secure サーバセキュリティ プレミアム	合計	1	

ポリシーベース インストール

#	インストール対象	バージョン
1	ドメイン "ルート" で、F-Sec	ミアム 15.3...

インストール...

行を消去

テーブルを消去

テーブルを強制適用

移行対象のクライアント(もしくはグループ)を選択し、インストールボタンをクリックします

2-1. Policy Managerでの移行作業



2-1. Policy Managerでの移行作業



以下のURLよりダウンロードしたファイルを選択し、インポートを完了させます
<https://download.withsecure.com/PSB/bs2cp/bs2elements.jar>

Computer Protection への移行



The screenshot shows the 'WithSecure Elements Agent' installation window. The title bar includes the product name and the 'WITH secure' logo. The main heading is 'サブスクリプションキー' (Subscription Key). Below it, there is a brief instruction in Japanese: '製品のサブスクリプションキーを指定します。' (Specify the product's subscription key). A warning message follows: '間違ったサブスクリプションキーを入力すると、インストールが失敗し、正しいキーを入力したかどうか確認してください。' (If you enter an incorrect subscription key, the installation will fail. Please check if you have entered the correct key). A red box highlights the 'キーコード:' (Key Code) input field, which contains a placeholder 'XXXX - XXXX - XXXX - XXXX - XXXX'. At the bottom, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '<戻る' (Back), '次へ >' (Next), and '完了' (Finish).

WithSecure Elements EPP 製品のライセンスキーコードを貼り付けます

Computer Protection への移行

W/ Elements Agent™

W / T H
secure

製品の言語

製品で使用する言語を選択してください。

日本語

キャンセル <戻る **次へ>** 完了

Computer Protection への移行

WI Elements Agent™ W / T H
secure

再起動オプション

PSBへの移行には再起動が必要な場合があります。コンピュータを再起動するタイミングを指定できます。

再起動する前にユーザーに確認する

次の時間が経過したら再起動する: 時間 分

キャンセル <戻る 次へ > 完了

Computer Protection への移行

W/ Elements Agent™ W / T H
secure

インストールタグ

exeインストーラの--installation-tagsパラメータと同じです。バックエンドポータル（PSB）に報告するインストールタグです（例：PSB=psb-tag1:psb-tag2:psb-tag3,department=accounting,role=secretary）。

現在、PSBは「PSB=psb-tag1:psb-tag2:psb-tag3」から「label」フィールドまでのこれらのタグをカンマ区切りの値として格納しています。文字列の最大長は255文字です。これらのタグはカンマやコロンを含めることはできません。

インストールタグを設定しない

インストールタグ:

PSB=ラベルを設定する事が可能

Element Security Centerの“デバイス”タブ内のデバイス表示でTeam/Groupなどラベルを付ける事が可能。

*** 日本語の入力は不可（ローマ字のみ）**

日本での入力が必要な場合は、Element Security Centerで、入力を行って下さい

Computer Protection への移行

The screenshot shows a configuration window for W/ Elements Agent™. The title bar includes the product name and the W/TH secure logo. The main heading is 'プロフィールID' (Profile ID). Below it, there is explanatory text in Japanese: 'COSMOSの設定でプロファイルIDの値を設定します。プロファイルIDは、URLの中にあることがわかります。例：https://elements.f-secure.com/apps/psb/p#####/profiles/computer-protection/edit/18062053/generalSettings.' There are two radio button options: 'プロフィールIDを設定しない' (Do not set profile ID) which is selected, and 'プロフィールID:' followed by an empty text input field. At the bottom, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '<戻る' (Back), '次へ>' (Next), and '完了' (Done). The '次へ>' button is highlighted with a red border.

Elements Security Centerの
プロフィール番号(例: 12345678)を
設定すると該当プロフィールが適用され
ます。指定しない場合はデフォルト
プロフィールが適用されます。

Computer Protection への移行

W/ Elements Agent™

W / T H
secure

Elements Connector

クライアントに使用するElements Connectorをプロキシとして設定します。例：http://<Connectorのアドレス>:<Connectorのポート>

Elements Connectorを使用しない

Elements Connectorのアドレス：

キャンセル <戻る **次へ >** 完了

Computer Protection への移行

W/ Elements Agent™

W / T H
secure

プロキシ

ダウンロードに使用するプロキシを上書きします。例：http://<プロキシアドレス>:<プロキシポート>

プロキシの設定を上書きしない

プロキシアドレス:

キャンセル < 戻る **次へ >** 完了

Computer Protection への移行

WI Elements Agent™

W / T H
secure

SMBIOS GUID

PSBでのCitrixサポートの場合、このマシンの一意の識別子としてSMBIOS GUIDを使用します。

同じマシン（同じSMBIOS GUIDを持つ）が、同じサブスクリプションキーで再度インストールまたは登録を行うと、ポータル上に新しいデバイスを作成する代わりに、ポータル上の同じデバイスに接続されます。

SMBIOS GUIDを使用しない

SMBIOS GUIDの使用を有効にする

キャンセル <戻る 次へ> **完了**

2-1. Policy Managerでの移行作業

設定完了後、ポリシーを配信します

製品	バージョン	カウント	処理
WithSecure® Server Security Premium	16.00	1	修復 アンインストール
WithSecure® Server Security Premium	合計	1	

#	処理	ステータス
1	ホスト "WIN-BTH5KMAUJ2T" に WithSecure Elements Agent 24.5 をインストールしています	ポリシーの配布後に開始されます

W/ ポリシーを配布する

ポリシーのプレビューを配布する

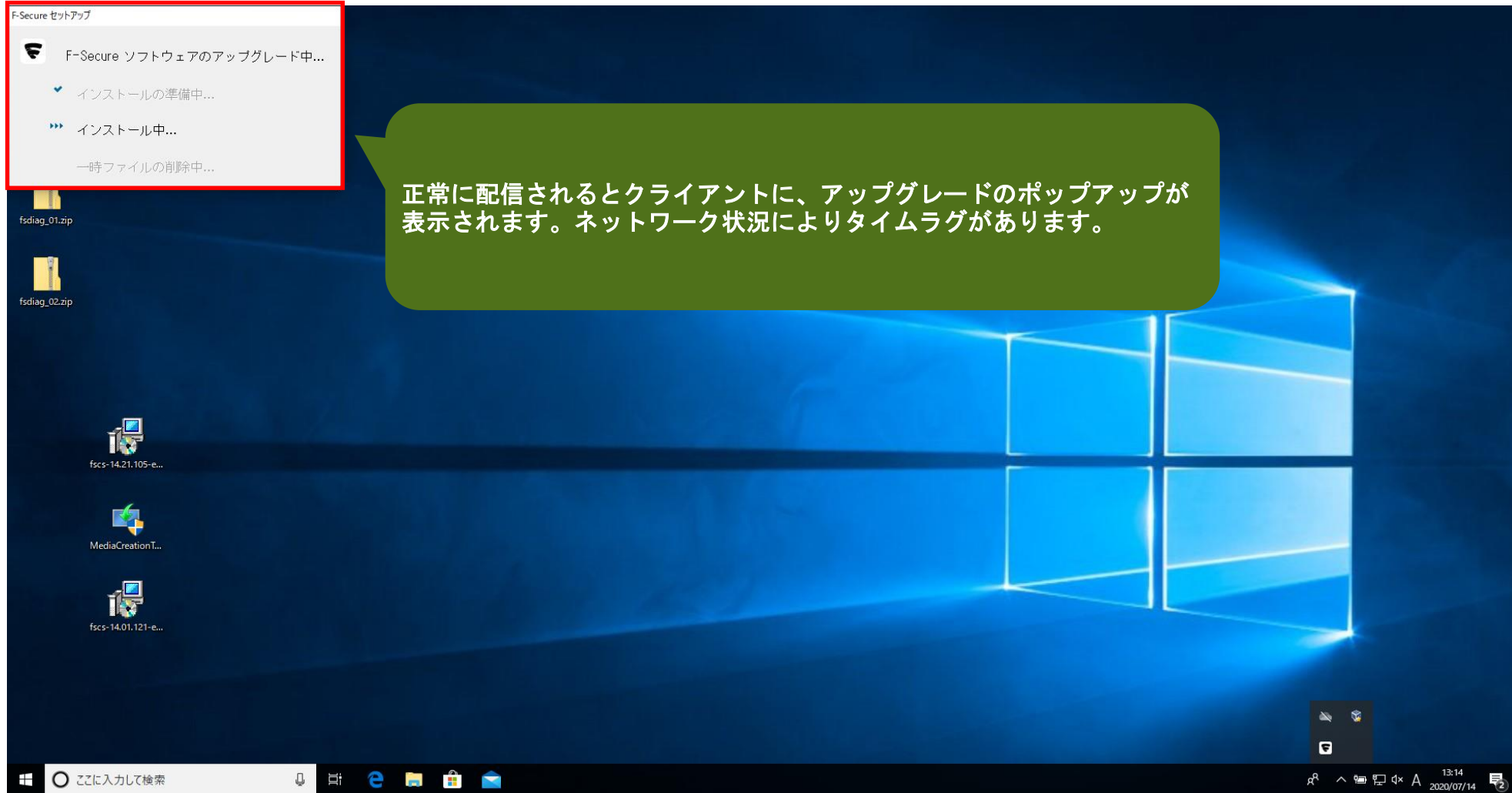
変更した設定: 1

ルート > WIN-BTH5KMAUJ2T

インストール ポリシーベースインストール ...

配布 キャンセル

2-1. Policy Managerでの移行作業



2-1. Policy Managerでの移行作業

The screenshot shows a Windows 10 desktop with a blue background. On the left side, there are several desktop icons: 'ごみ箱' (Recycle Bin), 'Microsoft Edge', 'TEST', 'PC', and a folder named 'fscs-15.30.3961 (1)-exported'. In the bottom right corner, the system tray contains the 'Elements Agent' notification. A green callout box points to the notification with the text: 'タスクトレイアイコンをクリックし、Elements Agentと表示されることを確認します' (Click the taskbar icon and confirm that Elements Agent is displayed). The notification itself shows the 'W/ Elements Agent™' logo, a shield icon with a 'C', and the text 'セキュリティ保護を設定しています...' (Security protection is being set up...). Below this, there is a link for 'ステータスの詳細 >' (View details of status >). At the bottom of the notification, the text 'WithSecure Elements EPP for Computers' and 'バージョン22.7' (Version 22.7) is highlighted with a red box. Below that, it says '旧称: F-Secure Business' (Former name: F-Secure Business). At the bottom of the notification are icons for search, refresh, settings, and a menu.

タスクトレイアイコンをクリックし、Elements Agentと表示されることを確認します

W/ Elements Agent™

セキュリティ保護を設定しています...

[ステータスの詳細 >](#)

WithSecure Elements EPP for Computers
バージョン22.7

旧称: F-Secure Business

2-2. WithSecure Elements EPPへの移行確認

W/ Elements™ Seino-F-Secure_SupportTeam

環境 / デバイス

デバイス

コンピューター モバイルデバイス コネクタ 管理されていないデバイス デバイスの検出 脆弱性アセット

フィールドを選択 に等しい 値を選択してください

1 - 4 / 4

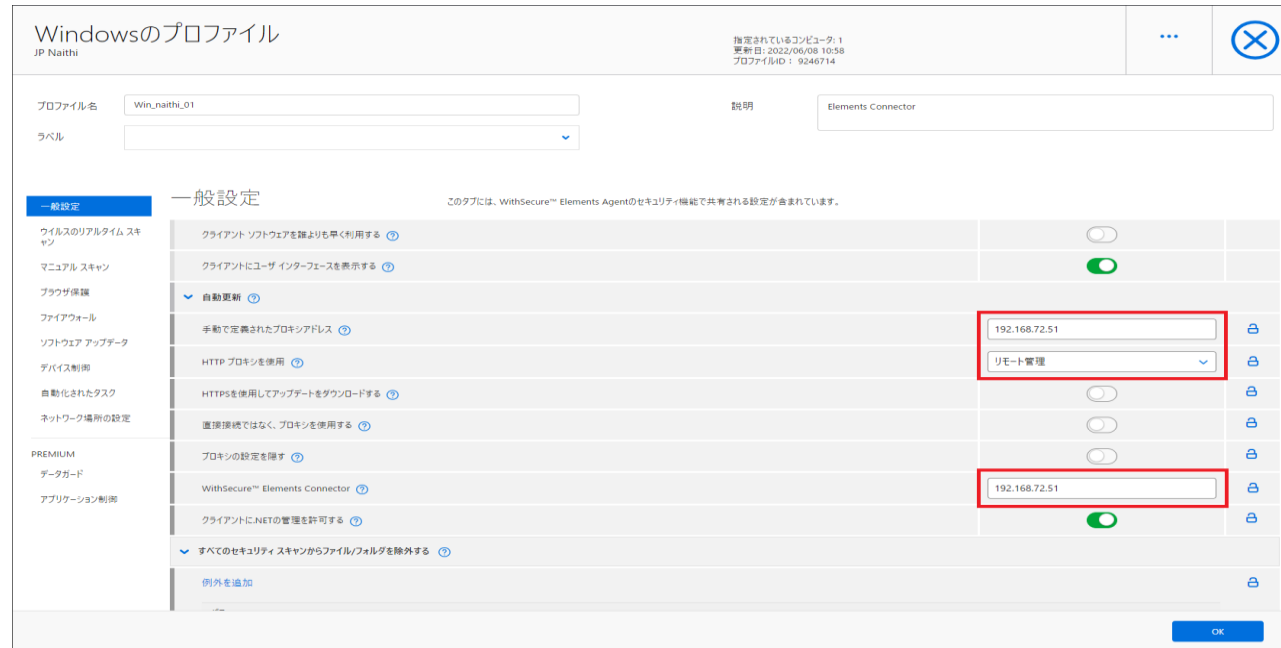
<input type="checkbox"/>	タイプ	名前	オンライン	登録日	OS名前	指定プロファイル
<input type="checkbox"/>	コンピューター	WIN-BTH5KMAUJ2T	はい	Mar 21, 2025	Windows 11	EPP移行
<input type="checkbox"/>	コンピューター	TEE3PC	はい	Mar 18, 2020	Windows 11	SeinoCustom001
<input type="checkbox"/>	コンピューター	DESKTOP-ORARLC3	いいえ			
<input type="checkbox"/>	コンピューター	USER	いいえ			

Elements Security Centerにログインし、接続できていることを確認します

3. Elements Connectorの利用

3. Elements Connectorの利用

Elements Connectorの利用をする場合には“準備1-2. WithSecure Elements EPP での準備”でプロファイルの作成をする際に、以下の項目を追加してください。



- ConnectorはEPP端末がオフライン環境で稼働する際にご利用いただくプロキシとなります。
- Connectorインストール方法はユーザガイドをご参照ください。
https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/connector/latest/ja/task_0CC32864F2F54405AED18E54FD2BBDCC-latest-ja
- Connector用ライセンスはElements製品購入時に無償提供されます。Elements Security Centerのサブスクリプションタブをご確認ください。
- Connectorを経由してソフトウェアアップデートをご利用いただく場合、各端末でConnectorの証明書インポートが必要です。